

さかいまち 議会だより

No. 149

平成22年2月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会

〒306-0495 境町391-1
TEL. 0280-81-1316
FAX. 0280-87-5873

ホームページアドレス
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>



圏央道利根川橋脚工事現場塚崎地内

より開かれた議会を目指して

議会議長 木村 信一



平成22年最初の「議会だより」発行に当たり、一言ご挨拶申し上げます。町民の皆様には、お健やかに平成22年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の6月には議員14名の改選がありました。その間、議会活動に対し暖かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年一年を振り返りますと、一月には初のアフリカ系アメリカ人と第44代アメリカ合衆国大統領にオバマ氏が就任、そして日本では、8月の衆議院議員総選挙において、自民党が1955年の結党以来、初めて衆院の第一党から転落し、民主党への政権交代が行われ、又、新型インフルエンザの影響拡大、更には長引く世界金融危機の影響や相次ぐ薬物事件など様々な出来事がありました。

なかでも、長引く景気低迷に加え、円高やデフレの影響で雇用情勢の悪化等、大変な一年でした。本年も厳しい経済情勢が依然として続いており、このような状況下での地方自治体を取り巻く財政状況は昨年以上に厳しくなることが予想されますが、少子高齢化の進展や環境問題、地域福祉施策の充実、さらには多種多様な住民ニーズに応えるための更なる効率的な行政運営等、難しい行政問題が山積しておりますが、次の世代に誇りを持ってつないでいく境町を築いて行かなければなりません。長寿社会においては、競争よりも協調が、物の豊かさよりも心の豊かさ求められている時代であり、自分が「してもらった」ではなく、わすかでも自分に「何ができるか」を考へる時代であります。

私たち議会は、地方自治体の意思

決定の最高機関として、町政のこれらの諸問題を慎重に審議し、住民福祉の向上のために、心新たに邁進する決意であります。

議会は、昨年の改選から半年以上経過し、その間、圏央道境インターチェンジ（仮称）周辺開発調査特別委員会及び行政改革特別委員会を設置しました。

圏央道特別委員会では、税収や雇用の拡大など、圏央道の波及効果を最大限まちづくりを生かすための施策を現在協議検討しております。

また、行政改革特別委員会では、ますます多様化する住民ニーズに適切に対処していくため今後の行財政改革の取り組みの方向性、さらには、町が実施する事業等について、町民の視点で議論し、その意見を取り入れ見直す必要があることから事業仕分けについて調査研究をしております。

そして、昨年第四回定例会においては、平成24年度開通が予定されている圏央道が県内道路事業費の最大40%が削減され、つづばジャンクションと五霞インターチェンジを経由して、久喜白岡ジャンクションを結ぶ区間の供用開始時期の見直しの報道が伝えられました。

このことは、まちづくりを進める境町にとって、地域の活性化や自立的な発展に多大な影響を及ぼすことから議会では、「首都圏中央連絡自動車道の着実な整備を求める意見書」を政府関係機関に提出しました。

終わりに私たち議会は、町民の皆様の負託を受けた責務と役割の重大さを自覚し、意思決定の最高機関として、権威と品位を低下させることなく、身近なわかりやすい議会、より開かれた議会を目指し、活発な議会活動に取り組む決意でありますので、今後とも議会に対するご支援とご協力をよろしくお願い申し上げますと共に、町民の皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。挨拶といたします。

平成21年第4回臨時会
提出議案の内容と審議結果

○境町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案 **〔即日原案可決〕**
境町女性消防団の発足に伴い、団員定数を改正するため、条例の一部を改正するものです。
○平成21年度境町一般会計補正予算(第4号) **〔即日原案可決〕**
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1千万円を追加し、歳入歳出予算の総額を81億3千768万9千円とするものです。

平成21年第5回臨時会
提出議案の内容と審議結果

○専決処分の承認を求めることについて(平成21年度境町一般会計補正予算第5号) **〔即日原案承認〕**
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2千368万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を81億6千137万6千円とするものです。
○境町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案 **〔即日原案承認〕**
平成21年8月11日の人事院勧告に基づいて、条例の一部を改正するものです。

平成21年第4回定例会
提出議案の内容と審議結果

○境町公共施設の暴力団等排除に関する条例の一部を改正する条例案 **〔原案可決〕**
境町研修センターの設置に伴い、条例の一部を改正するものです。
○境町介護保険条例の一部を改正する条例案 **〔原案可決〕**
介護保険料に係る延滞金の割合を納付期限から一定期間軽減する措置を講ずることにより、介護保険料の納付が困難となつていられる被保険者の経済的負担の軽減に資するため、条例の一部を改正するものです。
○茨城西南地方広域市町村圏事務組合規約の一部改正 **〔原案可決〕**
広域市町村圏計画の策定等に関する事務を削除するものです。

平成21年度境町一般会計補正予算(第6号) **〔原案可決〕**

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ6千132万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を82億2千270万3千円とするものです。
○平成21年度境町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) **〔原案可決〕**
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ531万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を32億6千588万6千円とするものです。
○平成21年度境町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号) **〔原案可決〕**
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ146万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億4千286万7千円とするものです。

○境町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条例に関する条例の一部を改正する条例案 **〔即日原案可決〕**
平成21年8月11日の人事院勧告に基づいて、条例の一部を改正するものです。

○平成21年度境町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) **〔原案可決〕**
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ26万円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億7千157万6千円とするものです。

予算の総額を12億4千979万3千円とするものです。
○平成21年度境町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) **〔原案可決〕**
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3千926万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億7千756万5千円とするものです。

○平成21年度境町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) **〔原案可決〕**
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ655万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億7千157万6千円とするものです。

人事

○平成22年4月に改選される次の3名の人権擁護委員を適任と認める。
氏名 植竹 里子
生年月日 昭和14年9月21日
住所 境町2177番地31
氏名 下河邊 栄晃
生年月日 昭和18年4月1日
住所 境町大字伏木2153番地
氏名 田中 次郎
生年月日 昭和19年4月21日
住所 境町大字上小橋469番地

一般質問

12月10日午後5時に質問の通告を締切、今回は8名の議員から通告があり、15日と16日の2日間に亘り行いました。紙面の関係上その概略は次のとおりです。
なお、質問及び答弁の全文については、「境町議会ホームページ」に掲載しております。

議席14番 齊藤 政雄 議員



○3期目の出馬について
Q. マニフェストについて
A. 国政における民主党への政権交代、円高ドル安の不安定な経済情勢や地方分権の在り方等の社会情勢を踏まえ、これからの様々な諸課題に対し、政策を実行する手順を今後どう取り組んでいくかを町民の皆様方に分かりやすく説明するマニフェストは極めて大切な手法であると考えております。このようなことから、今回私は、行政の継続性、安定性を確保し、困難な社会情勢の中で当面の基本的課題に対し、町の将来の展望をより確かなものにする使命と責任から、不退転の決意をもって来年執行される町長選挙に三度目の出馬をする。

議席1番 濱野 健司 議員



○境町の借入金について
Q. 町民一人当たりの借金を計算した場合、どのくらいになるか。
A. 町の借入額がおよそ164億円です。から子供も含めた全町民で計算すると、一人当たり約64万円になります。

○古河の広報には市民当たり約50万円と明記してあり財政状況も見やすいのでさかい広報も分かり易くしてほしい。
A. 検討いたします。

○子育て支援について
Q. 政権交代により、子育て支援金が

始まるようであるが、国が町に負担を強いられる場合は考えられるか。又、その対応策はどのように考えているか。
A. 中学校卒業までの対象者が約3千人で総額約10億円になるわけで、国が全額負担するのが当然である。

○地方負担を求める動きがあるが
A. 境町としては、関係機関等々と足並みをそろえる考え方で調整し進めていく。

○新年度に向けて国が無駄を省く動きが活発だと感じるが、当町として心がけて欲しいが
A. これまで同様今後も心がけていく。

○父子家庭の補助について
Q. そんな中前回の一般質問時から私たちは父子家庭の補助は難しいのか。A. やはり国の動きに合わせて行きたい。

○他の約百三十自治体のように、境町の百十四世帯の安心のために、少しでも補助の枠を作ってはどうか。
A. 補助を出すすると、約六千四百万と予想出来るが予算を作るのが難しい。

○母子家庭にあって父子家庭にないのと、父子家庭の子供に説明納得させるのが難しいと考えるか
A. 今後の課題として考えて行きたい。



○予算説明書について
町の予算について、少しでも具体的な事業の内容を住民のみなさんにお知らせすることを目的に、独自でわかりやすい予算説明書を作成して

全戸に配布している自治体もありま
す。この予算説明書、その年の目玉
事業や主要な施策だけでなく、すべ
ての事業や町の財政状況について掲
載、つまり町にとって都合の良いこ
とだけでなく、悪い部分も隠さず
にお知らせしています。例えば、町長
や職員の給料の状況、他市町村との
比較なども掲載し、しかも、難しい
行政用語をなるべくわかりやすい言
葉にかえるなどの工夫をしています
なによりも、住民の皆さんにとって
町の透明度を高める大事なことであ
ります。そこで、境町においても取
り組むべきと思うが町の考えは

A 今後、更に各種事業の概要や目的
経費、実績、評価等、具体的な内容
がわかるように検討していきたい。
〔総務部長〕



Q 国の政権交代による町の影響は
A 補正予算の執行停止で、境町とし
て合計4億8千7百万が執行停止さ
れているが、子育て応援特別手当交
付金以外の地方に対しての交付関係
については、予定どおり配分される
と思われる。今後国の予算編成の
動向を注視しながら、町の予算編成
作業を進めていくことになります。
〔総務部長〕

Q 学校給食センターについて
昭和46年に開所してから38年が経過
施設の老朽化等が問題となっている
が、今後どのような考えなのか。

A 施設は古いが、国の補助金で2千
万円近くの機械を入れているので5
年間は改修しながら有効利用してい
くのが良いと考える。
〔町長〕



○JT跡地について
Q 子育て支援センター建設計画につ
いては、ウエルシア社長の体調も良
くなってきたので、任期中には結論
を出すつもりでしたが、基本的な設
計が詰められてきているのか。
A 子育て支援センター建設計画につ
いては、ウエルシア社長の再度入院
との事で話し合いが出来ないが、副
社長(ウエルシア)及び、都設計(ウエ
ルシアの代理人)との話し合いの中で
必ず計画通り実施すると約束されて
いるので、任期中(平成22年3月2日)
に必ず結論を出す。
Q 医療モールの進捗状況について
今現在1店舗も開業されていません
が、今後どのように進めて行くのか。
A 現在の社会情勢ではなかなか難し
いが、当初計画通り進めていたたく
ように話し合いをしている。
○圏央道境インターチェンジ(仮称)
周辺開発計画について
Q まちづくり基本調査(A調査)報告
書に基づいて、どのように取組まれ
ているのか。
A 今、開発するようなところが、な
かなかないと言う事なので、現在2
箇所に絞って調査をしていると云う
段階である。社会の情勢を見ていた
だければ、今すぐ企業が来るとか、
そう言う時代ではないので、これか
らじっくり調査を進めて、開通に向
けて準備を進めている段階である。



議席10番 新谷 一男 議員

Q 都市第一下水道の汚泥処理計画に
ついて 現在、栗原茶店より吉祥院
北側までの残された部分について何
時頃までに工事をするのか。
A 〇指摘の旧都市下水路につきまし
ては、残り約4百30メートルが未完
成となっており、概算事業費で9千
5百万円程度が必要になるという結
果が出ております。今後につきまし
ては、事業費のすべてが町の一般財
源となることから、財政事業を考慮
のうえ、引き続き計画的に事業の推
進を図る。
Q 染谷川に堆積された土砂について
染谷川は住民にとって重要な河川の
一つと思われます。川の中に雑木が
生えて川の流れを止めています。こ
の現状をどう対処し、どう工事を進
めようとするのか。
A 早急に工事を実施し、冠水防止に
努めて参りたい。立ち木の処理計画
については、立ち木により、ゴミ等
の流れが阻害され冠水を引き起こす
要因の一つと考えられます。現在、渇
水期となりましたので、旧都市下水
路分岐点から国道三五号線までの
約二百メートルの立ち木を処理すべ
く計画中であります。また、国道脇
の竹の伐採につきましても、県工事
事務所と協議をする中で、検討して
参りたい。
議席12番 齊藤 政一 議員

Q 境町総合計画及び各種プランごと
のその作成料等(委託料含む)は

計 画 名		委 託 料
1 第四次境町総合計画	前期基本計画	7,770,000円
	後期基本計画	2,373,000円
2 圏央道境IC(仮称)周辺まちづくり基本調査(A調査)		2,919,000円
3 境町次世代育成支援対策行動計画		1,784,000円
4 境町高齢者福祉計画及び第四期介護保険事業計画		1,785,000円
5 境町障害者計画・障害福祉計画		2,289,000円
6 境町特定健康検査等実施計画		1,081,000円
7 境町都市計画マスタープラン		3,350,000円
8 境町中心市街地活性化基本計画		4,659,000円
9 境町国民保護計画		1,575,000円
10 境町地域防災計画		2,678,000円
合 計		32,263,000円

A 委託料は次のとおりです。



議席9番 内海 和子 議員

○教育について
Q 青少年健全環境条例等をつくり、
家庭の責任を明確にすべきではない
か。また本物の教育はしているのか。
A すでに条例で保護者の責任はある。
また、文化庁の事業で舞台芸術体験
や芸術家等派遣事業を活用している。
Q 森戸小学校前のごみ等の散乱状況
は教育的配慮に欠ける。何とかなら
ないか。
A 坂東市のリサイクル業者の資材置
場ということで、なかなか対処でき
なかったが、今回県と町で立ち入り
調査し、22年3月までには整理をす
る。

○観光協会について
Q 役場部課長や議員などあて職の組
織は妥当なのか。町民号、高瀬舟、
道の駅、ふるさと祭りの見直しはし
ないか。
A 趣旨に見合っていないばあて職でも
よい。町民号は住民が望み限り行う。
町のシンボルとしての高瀬舟であり、
道の駅も野菜の直売も地産地消の役
割を果している。ふるさと祭りの経
済効果は検証が難しいが、祭りは楽
しむものとする。
○町づくり推進室について
Q 町づくり推進室の進捗状況は？そ
の中に美術工芸やアニメの学校など
いかがか。
A 圏央道周辺開発、農商工の連携、
桜つつみ延長など、また準備段階。
西高跡地に関しては地元の要望書を
県に提出した。



各機関に意見書を提出

○首都圏中央連絡自動車道の着実な整備を求める意見書
 〔即日原案採択〕

Q 新型インフルエンザ感染が拡大流行しているなか、町内各小中学校等の学級閉鎖はどのような状況か、授業時間確保への影響はないか。
 A 本日まで、学校閉鎖が1校、学年閉鎖が2校、学級閉鎖が31学級となっており、授業への影響はあつては年間の授業時間は35週で計画されており、ある程度の余裕はある状況であります。今後不足が予想されることから各小中学校の実態に応じた対応を校長会でお願いしたところであります。

Q 当町において学校給食にはどれくらいの割合で地元農産物を使用され、地元農産物の特徴や栄養価等について児童生徒への理解を深めるのにどのような方法を講じているか。
 A 当年度の境町産は、4月21%、5月17%、6月16%、7月7%、9月24%、10月10%となっており、献立表に明記し、校内放送や担任からも説明しております。これからも地産地消に取り組んでまいります。

Q 菜の花祭り後の河川敷を利用して景観作物を導入してはどうか。
 A 気象条件等を考え、適する作物があるか検討して参ります。

Q 当町におけるいわゆる無保険の子の実在状況、並びに今後の対策は
 A 保険税滞納世帯については短期保険証の交付を実施しており、中学生以下の子供がいる世帯の保険証の無交付はございませんが、今後も充分考慮して参ります。

○議会運営委員会
 当委員会は、昨年9月29日、議会改革に積極的に取り組んでいる宮城県蔵王町議会にて視察研修を行ってきました。

蔵王町は、人口1万3千人で議員定数16名、平成20年6月に議会の活性化を図るため、議会改革検討委員会を設置し、北海道の白老町や栗山町を視察し、平成20年の第4回定例会において、通常3月、6月、9月、12月の年4回開催している定例会を年1回とする通年制議会を導入する関連議案2件を全会一致で可決して、昨年1月から実施し、これは北海道白老町議会に次ぐ全国2例目であり

所管事務調査報告

○議会運営委員会

蔵王町は、人口1万3千人で議員定数16名、平成20年6月に議会の活性化を図るため、議会改革検討委員会を設置し、北海道の白老町や栗山町を視察し、平成20年の第4回定例会において、通常3月、6月、9月、12月の年4回開催している定例会を年1回とする通年制議会を導入する関連議案2件を全会一致で可決して、昨年1月から実施し、これは北海道白老町議会に次ぐ全国2例目であり

この通年制議会導入によるメリットは、議会の権能強化が図られ、緊急に審議が必要になった場合、臨時会の開催が必要なく、又、いつでも議案の提出ができるなど、議会が主導的、機動的に活動できるとのことです。又、デメリットは、節目がなくなり緊張感が薄れることや事務局への負担増等が上げられるとのことでした。

蔵王町議会では、この通年議会のほか、年2回の議会報告会を実施し、議会への住民参画など、17項目の改

革に積極的に取り組んでいるとのことでした。
 この視察研修で、住民ニーズを町政に反映させるための機動的な議会を目指して、議員一丸となって議会改革に取り組んでいる様子を強く感じました。

当委員会としても、引き続き議会改革の方向性を協議検討し、町民にわかりやすく、そして開かれた議会を目指して行きたいと考えております。

今回の視察研修にあたり、蔵王町議会の皆様には公務ご多忙にもかかわらず、有意義な研修をさせていただき、厚くお礼を申し上げます。



蔵王町

○産業建設委員会

当委員会では、昨年10月14日に群馬県玉村町の夏祭りの花火大会、15日に埼玉県吉見町の農業集落排水事業の実施状況を視察研修してきました。

先ず、玉村町の夏祭りの花火大会は、第1回を昭和63年に商工会の青年部が主催で、その後は、各種団体で構成する実行委員会が中心となり、そこに花火を愛するボランティアの方が加わり実施しているとのことでした。

昨年の予算は、企業等の協賛金が

680万円、町民からの寄附金が260万円、町補助が350万円で実施したとのことでした。
 この玉村町の視察研修において、昨今の社会環境の大きな変化により、住民ニーズの多様化等、山積する行政課題に対応するため、住民と行政がそれぞれの役割を理解し、分担しながら知恵と力を合わせ「協働のまちづくり」のために、夏祭りを始め各種事業に町と住民が積極的に取り組んでいる意気込みを強く感じました。

次に、15日には吉見町を訪問し、農業集落排水事業の取り組み状況を視察研修してきました。

吉見町では、昭和61年度から農業集落排水事業に着手し、現在7地区で1千365戸が使用し、総事業費は68億円をかけ、平成20年度から残りの1地区を平成26年度供用開始に向け、現在進めているとのことでした。

課題は、施設の老朽化に伴い、維持管理コストの高騰が予想され、施設の長寿命化と経費の平準化を図るために、ストックマネジメント手法を活用した整備構想により、低コスト化を図り、健全な運営に努めていきたいとのことでした。又、整備状況は概ね公共下水道事業が20%、農業集落排水事業が20%、合併浄化槽が60%とのことでした。なお、当町の静第3地区とは施工上の違いはありますが、真空弁方式を採用している地区の新規加入者の分担金は、条例で70万円と明確に規定しているとのことでした。

この視察研修において、当町においても、今後の施設の運営にあたっては維持管理のコストを削減し、健全な運営に努めていかなければならないと感じました。

以上、2日間にとり研修をさせていただきましたが、公務ご多忙にもかかわらず、有益な研修をさせて頂いたことにに対し、玉村町及び吉見町の関係者の皆様に衷心よりお礼を申し上げます。

議会の活動状況

1 月	12 月	11 月
21日・自治基本条例講習会	15日・一般質問 16日・一般質問 17日・常任委員会 第4回定例会 閉会	20日・議会運営委員会 24日・全員協議会 第5回臨時会 行政改革特別委員会 第4回臨時会 行政改革特別委員会 第4回定例会 開会 全員協議会 議会運営委員会 所管事務調査 (大洗町議会)



玉村町

◎広報編集委員会

委員長 新谷 一男

副委員長 濱野 健司

委員 田山 文雄

委員 須藤 信吉

委員 渡邊 昇